

「武庫川総合治水の推進」説明会 神戸市会場での主な当日発言

	発言内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 台風23号で床上浸水の大きな被害を受けた。流域委員会に何度か出席したが、委員会でも災害対策については、議論されており、期待している。 ● 基本方針は100年に1回の洪水を想定した長期計画である。整備計画は30年の期間で達成するが、事業が進捗していない段階には減災対策が重要と考える。千叡ダムの羽束川、武庫川の今後30年の整備では、台風23号と同じレベルの雨が発生した場合また被災することから、常に災害リスクを負って生活しなければならない。 ● このハザードマップは甘いのではないか、実態と乖離しているのではないかということを感じた。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 丹前の上から背中をかいているような話。昭和13年、昭和20年の2回浸水し、避難した。有馬川、武庫川の合流点で川の水が逆流した。 ● これらのときには避難はできたが、平成16年には、9月と10月の2回、有馬川の堤防すれすれまで川の水が増水した。原因は、北神地区の開発。雨水が急激に有馬川に流入してくる。有馬川の北側の堤防を補強することが必要。 ● 平成16年のときは、昭和20年の時より雨が少なかったにもかかわらず、洪水は大きかった。現状では、昭和13年より、武庫川の川底を3m程下げ、堤防も2m以上嵩上げしたにもかかわらず、それでも、水は来た。 ● 学校まで避難したが、堤防が決壊したり、もっと大きな雨では避難するところが無い。神戸市の防災マップを見たが、小学校は浸水することになっている。早急に堤防を補強して欲しい。川北地区はまだ逃げる所があるが、私たちの住んでいるところは逃げる場所が無い。地域の現状をよく見て対策を考えて欲しい。災害は、今日明日かもしれないという現状である。ご検討いただきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ● ダムは危険水位になれば放水してきた。提言では、事前に時間差で放流すると記載されているが、そんなことは可能か。空振り等考えると、決断できるのか。青野ダムや他の利水ダムでそう簡単にできるのか。放流により、水が引きにくい状況もありえる。誰が指示して、誰がどのように操作するのか。 ● 神戸市の処理場200m下流の排水口は逆流する可能性がある。提言にはないが、23号台風の時、水田は一面水浸しになった。稲木（イナギ）が引っかけ、流れなかった。強制排水が必要である。ため池、ダムがそんなに提言通りうまくやっていたのか疑問。非常に難しいと思う。排水口や、引かない水の強制排水について考えて欲しい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員会の委員構成では、神戸市から出ていない。神戸市は極めて重要。将来はこうする、抜本的にこうする、といったことを示して欲しい。 ● 町の公園はいつも水浸しで、水はけが悪い。 ● 重要な河川が4本も5本も合流している。洪水ハザードマップは不安を煽る。少なくとも、北神戸について、安心できる行政を期待する。

「武庫川総合治水の推進」説明会 神戸市会場での主な当日発言

5	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日は、貴重な話を聴かせていただいた。すぐやるべきこと、長期的な話とを仕分けすることが必要ではないか。 ● 当局も、武庫川本川だけではなく、支流も視野に入れて考えていって欲しい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ● 休耕田が増えており(45%位)、水を貯めると、土手が崩壊する危険がある。個々の農家で補修することが必要になり、補助も含めて検討していただきたい。 ● 宅地造成時は、ため池の土砂を浚渫してくれるが、造成が終わるとしてくれない。ため池も田んぼも、治水するには様々な課題があり、検討をお願いしたい。
7	<ul style="list-style-type: none"> ● ため池は、開発によって、団地の中の池という感じになっている。土砂が流入し、浚渫もやってもらったが、ため池の貯水量が、年々少なくなっている。地元だけでの対処は難しい。 ● 山の開発で、木を切ったため、雨が降ると一気に流れてくるといった状況である。
8	<ul style="list-style-type: none"> ● 以前の発言に対して修正を行いたい。異常気象や飲料水の問題もあり、青野ダム、利水ダムの事前放流について、難しい旨の発言をしたが、昨日、青野ダムの管理事務所において、水位の情報は河川管理者間で共有されており下流の水位(下田中)をみて実施しているとのことで安心した。 ● 河床掘削については、私のところでは効果の判定が難しいと思える。23号台風時、下水処理場20m下流の排水孔の高さは、河床から50cmから100cmなので、本川水位が上がり逆流し、田んぼが一面浸かった(床上浸水にいたらず、20cm, 30cm深いところでは50cm程度)。本流の水ではなく、田んぼの水の強制排水をお願いしたい。 ● 私の土地は、1/30, 1/100でも常につかるところである。新規の住宅建設の規制・高床式等の区域に該当する。生まれたくてこの地に生まれたのではなく、早く親をなくし、今までやってきた。あまり強調されると地価が下がるし、規制は難しい。
9	<ul style="list-style-type: none"> ● 1/30, 1/100も良いが、日々良い環境で暮らしたい。ホテルを大事にしたい反面、河川堆積物を除去しないと雑草が生い茂って見苦しい。 ● 本川のような大規模なものは要らないが、都市部やこの地区から、ほたるや川で遊ぶ場所として駅周辺に河川公園、自然を愛する場所が欲しい。河川を憩いの場として欲しい。何かの機会に検討いただければうれしい。
10	<ul style="list-style-type: none"> ● 1/100, 1/30/, 1/18計画規模は100年先、30年先ではなく、雨量の問題で、現在の雨の降り方から言うと気候の変化があるので、1/100は、来年かも、5年後かもしれない。100年後の話ではないので、説明をかえるべきである。誤解を招く。